日本建設機械化協会
J.C.M.A.

No. 170　　1964年 4 月号

目　次

建設の機械化に関する当面の問題 ……石上立夫… 1
国土建設のビジョン ……内山諫… 2
昭和39年度官公庁の事業概要（その 1）
Ⅰ. 昭和39年度建設省の事業概要 ……寺崎満… 6
Ⅱ. 昭和39年度日本国有鉄道工事の概要 ……木全治彦…13
昭和38年度官公庁・建設業界で採用した新機種について（その 1）
［1］. 官公庁で採用した新機種
Ⅰ. 建設省で採用した新機種 ……坪渡辺和夫 賢…15
Ⅱ. 運輸省で採用した新機種 ……両角常美…18
Ⅲ. 農林省で採用した新機種 ……郡黒田竹内 湜孝弘…21
Ⅳ. 国鉄において採用した新機種 ……石川正夫…23
首都高速道路工事における最近の工事例
1. 大孔径せん孔について ……岡沢裕 白石幸蔵…26
Ⅱ. コンクリートプレーサの使用例 ……岡沢裕…29
グラビヤ―相模川総合開発建設工事の現況
建設業者の保有機械の最近の推移と特色 ……野口紀雄…31
建設機械の現状（その 1）―Ⅰ. 土工機械
Ⅰ-1 ショベル系掘削機……杉山浦夫 亀井茂樹…37
「建設機械化講座」第13回 現場フオアマンのための土木と施工法
Ⅶ. 名神高速道路工事の機械化土工の実例（その2）…平田昌三 福住隆二…47
「特許・実用新案の解説」第 8 回建設機械の発明・考案
Ⅶ. 掘削機械編（その 2）……真田真一…53
建設機械の日本工業規格の現状について ……遠藤幸平…59
「新機種紹介」 三菱カーフバックホー ……玉木喬…61
「文献調査」 凍結法による竪坑掘削 ……施工部会 文献調査委員会…68
ニューズ ……（編集部）…65
行事一覧・編集後記 ……（長瀬・前田）…66

◇表紙写真明説◇

三菱日本重工業（株）東京車両製作所製

三菱カーフバックホー（排土板付）

三菱日本重工業株式会社
三菱ふそう自動車株式会社

土木・建築工事のなかで，最近は狭い現場での掘削，積込み作業が多くなり作業は困難視されている。これら作業のスピード化，能率化を図るため２ｔトラクタとして定評のある三菱カーフ≪ＢＤ２型≫を母体としてバックホー（排土板付）を製作した。バックホー，ショベル装置はもちろん，排土装置を標準仕様としているため広範囲の作業に利用できる。

主な特長は次の通りである。

1）バケットアームの前後，バケットの開閉，ブームの上下，旋回はすべて油圧により作動し，２本のレバーで簡単に操作できる。
2）バケットの交換によりバックホー，ショベルのどちらにも利用でき，小型ダンプへの積込みも可能である。
3）運転席の向きをかえることによりアングルドーザとなり，排土作業にも利用できる。
4）強力 30 PS 小型ディーゼルエンジンを搭載している。

主　要　諸　元

	バックホー	ショベル		バックホー	ショベル
走行速度	前進 4 段	2.6~8.7 km/h	旋回範囲	車体中心から左右各 70 度	
	後進 1 段	3.9 km/h	バケット容量	0.06 m³	0.08 m³
全装備重量	3,100 kg		バケット掘削幅	388 mm	397 mm
エンジン	三菱 4 DQ 11C ディーゼル		最大掘削深さ	1,700 mm	1,570 mm
連続定格出力	28 ps/2,500 rpm		最大積込高さ	1,620 mm	1,580 mm
掘削旋回範囲	車体中心から左右各 50 度		アングリングブレード	2,250 mm×550 mm	